



大阪府立西野田工科高等学校機械系同窓会 西野田機友会 会報 NO.30

<http://www.uni-st.net/kiyuukai/>

西野田機友会事務局

〒553-0007 大阪市福島区大開2-17-62
大阪府立西野田工科高等学校 内 西野田機友会
TEL.06-6461-0023(学校) FAX.06-6461-3483(学校)

第2
事務局

〒554-0012 大阪市此花区西九条2-10-17
ユニブレン内 西野田機友会
TEL.06-6468-8085 FAX.06-6468-8031

西野田機友会 会報30号は、正会員のみに配布しています。



平成29年度 西野田機友会社会見学会・総会報告 H29.5.25

集合時には生憎の小雨でしたが、京都鉄道博物館に着く頃には雨も上がり、以後見学日和となりました。「京都鉄道博物館」は、年間120万人を予想していた来館者は11ヵ月で140万人を超える人気だそうです。2時間の見学時間を予定していましたが、ポイントの施設しか見ることができませんでした。

同博物館を後にし、総会・懇親会場の「がんこ」高瀬川二条苑」に移動。到着後直ちに、同苑の日本庭園で記念撮影。その後、総会を開催致しました。会計の新田氏から平成28年度の会計報告ならびに平成29年度の予算案が示され、会計監査の岡田氏から会計監査の報告がなされました。会長の井上から平成28年度の事業ならびに平成29年度の事業案が報告され、これらの全案件は満場一致で承認されました。続いて、懇親会を開催致しました。今年度は西野田機友会創立20周年となり、サプライズ企画として、京都先斗町から二人の舞妓さんをお呼びしました。踊りの披露後、記念撮影やお酌など、場もぐつと和らぎ、京都ならではの懇親会となりました。舞妓さんの費用は、会費とは別に出席者の自由カンパにより捻出しました。

懇親会場を定刻(15:30)に出発し、二条城を約1時間見学。帰路は、JR京都駅に寄って、無事定刻に大阪駅前に到着、解散いたしました。当日の参加者は28名(内現地集合者4名)でした。(HPに当日の写真アップしています)



母校創立110周年記念式典・祝賀会開催 平成29年11月26日

於:太閤園(大阪市都島区)ダイヤモンドホール



母校、大阪府立西野田工科高等学校は、本年2017年「創立110周年・定時制併置70周年」を迎え、平成29年11月26日(日)15時より太閤園(大阪市都島区)ダイヤモンドホールで記念式典・祝賀会を開催いたしました。

当日、機械科卒業生はS23年卒の熊谷隆市・古里龍一両氏を筆頭にS62年卒の吉田啓次氏迄55名が参加。全体で280名程の盛大な式典となりました。国歌斉唱にはじまり、富田公一学校長、関元忠義西野田工友会会長挨拶、来賓挨拶等で40分間の式典が終了。

記念講演・演奏は、全日本吹奏楽連盟理事長・淀川工科高等学校名誉教諭・同校吹奏楽部顧問の丸谷明夫氏(S39電気科卒)と同校吹奏楽部部員26名による昭和40~50年代のヒット曲等の演奏に拍手が続きました。



後、祝賀会がはじまり前回の立食パーティに変わり、全員円卓着席でゆったり食事が出来、また、各テーブルでの会話はずみ2時間程で閉会となりました。

尚、参加者にはA4/60ページの創立110周年定時制併置70周年記念誌が配布されました。



母校創立110周年記念式典、祝賀会参加者

機械科参加者 55名

- | | | | |
|-----------|----------|-----------|----------|
| S23 熊谷隆市 | S34 青谷健二 | S37 下浦正男 | S42 藤井 勉 |
| S23 古里龍一 | S35 黒田一男 | S37 三浦 修 | S42 三好利文 |
| S24 川井雄二郎 | S36 笹野俊夫 | S37 光畑英男 | S43 櫻 勲 |
| S25 大本幸利 | S36 鈴木康央 | S37 村上正之 | S43 井上義雄 |
| S25 福武健治 | S36 関元忠義 | S38 高橋武近 | S43 内田英明 |
| S25 中谷 晋 | S36 田中 満 | S39 箱谷義和 | S43 津崎保夫 |
| S27 吉田 明 | S36 津阪豊樹 | S39 黒瀬義雄 | S43 西田利男 |
| S27 中元 登 | S36 中西鶴夫 | S39 古賀 満 | S44 棚橋 実 |
| S28 谷口永俊 | S36 濱田健一 | S41 妹背健次 | S45 河野安明 |
| S28 西濱貞男 | S36 森好伸二 | S41 岡田 彰 | S54 間嶋政祐 |
| S30 廣瀬 彰 | S36 渡邊賢二 | S41 新田廣治 | S58 栃木達三 |
| S30 大久保儀臣 | S37 一柳 勝 | S41 道端喜志男 | S61 木下裕詞 |
| S31 山本和義 | S37 勝木惇正 | S42 生駒元博 | S62 吉田啓次 |
| S32 原田兵次郎 | S37 河野能久 | S42 高濱利雄 | |

- 当日欠席者 S24 谷澤誠一 S26 小谷泰造 S35 廣石義行 S36 荻野進宏
S36 山下忠志 S37 南 洋治 S37 山川倫弘 S39 米田 伸

祝賀会参加者 機械科55、建築科23、デザイン科27、電気科30、土木科 24、定時制 18 旧職員27、現職員25、PTA 12、PTA OB 12名・・・他



当日の写真ホームページに掲載しています。

昭和13年卒 多田野 弘氏より

(株式会社タダノ名誉顧問)

今年も100万円寄付賜る!!

8年連続



昭和13年3月本校高級科機械科を卒業された多田野弘氏より、今年も1月中旬に機友会口座に百万円を振り込んで頂きましたことをご報告いたします。この紙面をお借りして、厚く御礼を申し上げます。ご寄付は「タダノ同窓会基金」や会運営の社会見学会、会報等の補助としても活用させて頂いています。多田野様の母校愛、機械科愛に、我々も気持ちだけでも日々見習わなければと思っています。8年連続のご寄付、誠にありがとうございました。



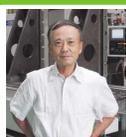
株式会社タダノ 会社概要

資本金 / 130億2100万円 社員数 / 1335名 1972年東証一部上場 営業品目 / 建設用クレーン車輻輳型クレーン及び高所作業車の製造販売 本社 / 香川県高松市新田町甲34番

多田野 弘氏のエッセイコーナー「航海日誌」

<http://www.tadano.co.jp/tadanocafe/logbook/>

西野田機友会HPからもリンクしています。是非ご覧ください。



昭和36年卒 森好伸二氏より

今年も10万円寄付賜る!!

7年連続

大阪市住之江区・国津精機株式会社 会長

近況報告

平成29年5月正会員各位に郵送しました総会案内出欠返信ハガキにご記入頂いた近況報告です。

中谷 晋 S25.3卒(豊中市)
今年も4月第23回、結成以来51年になる同窓会15名元気で参加しました。現役中はそれぞれ何かと忙しくて昭和41年発足後も5年に一度、6年になっていましたが大体が引退した平成10年からは毎年。最近では生きてる証明だぞと顔を見せると同窓生ならではの会話では残った全員の希望目的で90才迄は続けるつもりです。病の話が多いですが又、貴重な情報もあり何よりも元気がわきます。我々この年で頑張っていますよ。

吉原 薫 S20.3卒(香川県)
今年西野田工業高校110周年 おめでとうございます。私は香川県出身でこの伝統ある西工を昭和20年に卒業し、地元の世界一クレーンメーカーのタダノに勤務していた者として私は一番、西工卒業生である事を誇りに思っております。西工100周年記念式典には出席し、62年振りに正式の卒業証書を受け、今でも記憶に残っておりますが今年の110周年記念式典には90才近くの老人となり欠席として頂きますが香川県から記念式典の盛況裡に開催される事を祈念しております。

山本忠秋 S37.3卒(埼玉県) ナカネツ・代表取締役
昭和37年に卒業(幹事の南さんと同期)し、就職し40年に東京へ転勤。現在は東京で小さな設備会社を営んでおります。貧乏暇無しの毎日です。今のところ身体は元気で下手なゴルフを楽しんでおります。今後、機友会の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

山下哲夫 S30.3卒(愛知県) 山下機工(株)・取締役会長
昭和39年8月に豊田市に東京から主にトヨタ自動車、トヨタグループ(自動織機、ダイハツ、トヨタ車体)、他コカコーラ、アサヒビール、サントリーとか飲料食品関係の自動設備の仕事をしております。大阪ではグループ会社、山下製作所、山下鉄工、滋賀山下があります。西野田のOBも多数おられます。同級生の小松俊全君とゴルフをしています。

美川義明 S20.3卒(大阪市)
最近体調が悪くて困っています。別にここと云って悪い所はないのですが一日も早く元気になって皆さんとお話ができるようになったらいいなと思っています。いつも御世話になるばかりで御許下さい。では皆さんによりよく御伝え下さい。5月8日がくれば90才になります。

窪田直隆 S38.3卒(東京都) ウイル・代表取締役
5人の子供も夫々独立し現在は妻と二人で楽しく暮らしています。仕事は保険会社アフラックの代理店(株式会社ウイル)で東京の吉祥寺駅より徒歩2分の所で店を構えています。「よくわかる!ほけん案内吉祥寺店」仕事の他にボランティアでライオンズクラブや法人会の役員等で忙しくしています。健康第一と考え、残りの人生を楽しみたいと思います。

松本仁宏 S51.3卒(西宮市) 松塾経営
いつもご案内ありがとうございます。塾生募集に明け暮れています。今後ともよろしく!成績で悩んでいる中学生がいらっしゃればよろしくお願致します。

平成30年度「会費」振込みのお願い

平成29年度会費は11月30日現在218名さまから振込みいただきありがとうございました。同封の振込用紙にて、お近くの郵便局から振込みお願い致します。または、来年3月発行の西野田工友会会報同封の振込用紙でも振込みください。年会費¥3,000は平成30年度会費になります。西野田機友会の運営上格別のご理解をお願い申し上げます。

次号31号 名刺広告募集 1枠¥3,000

会報発行費用の補助に広告掲載を企画しています。各界で活躍の卒業生諸氏の皆さまにご協力をお願い致します。広告掲載ご希望の方は事務局までご一報ください。詳細につきましては追ってご連絡申し上げます。

事務局からのお願い

1. 正会員の皆さま、住所表示、転居等変更の際はご連絡ください。
2. 会報は年2回発行します。寄稿文も掲載いたしますので、郵便、FAX、ホームページからのメール等でお送りください。

第2事務局/S36年卒 濱田健一
〒554-0012 大阪市此花区西九条2-10-17
ユニブリン内 西野田機友会
TEL.06-6468-8085 FAX.06-6468-8031
e-mail uni@unicos.co.jp

東京連絡所/S37年卒 勝木惇正
〒276-0046
千葉県八千代市大和田新田911-11-357
TEL.047-459-1730

編集後記

例年、12月発行の会報は西野田工友会会報に同封していましたが、今年では来年3月に延期とのことで正会員のみの配布となりました。また、20周年記念誌は3月に31号会報は5月になります。母校110周年記念行事のため変則になりましたことをお詫びいたします。(K.H)

平成29年冬 ごあいさつ

今年は、例年になく早い時期から寒気が押し寄せていますが、会員各位におかれましては恙なくお過ごしのことと存じます。平素は西野田機友会の活動にご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年は、母校創立110周年と西野田機友会設立20周年の二重のおめでたい記念の年となりました。

去る、平成29年11月26日(日)に、太閤園(大阪市都島区)で母校創立110周年記念式典、記念講演・演奏会、祝賀会が催されました。これらの記念行事は、二年前から、関元忠義実行委員長(西野田工友会会長、機械科昭和36年卒)が中心となって準備され、西野田機友会も協力させて頂きました。記念事業はすべて無事成功裏に終わることができましたので、ご報告させていただきます。会員の皆様方には多大なご協力を頂きましたこと、紙面をお借りし、厚く御礼申し上げます。

さて、西野田機友会設立20周年の記念事業は、母校創立110周年記念事業と重なることから、記念総会を5月の見学会と同時開催し、また12月発行の西野田機友会会報Vol.30の別冊として「西野田機友会二十周年記念誌」を発行することに致しました。本誌裏面に西野田機友会会則を掲載していますのでご覧ください。

また、下記、要項で初めての西野田機友会新年会を企画いたしました。お忙しいとは存じますが、万障繰り合わせの上ご出席頂きますようお願い申し上げます。

年明けから、役員一同30周年に向けてより一層頑張りますので、皆様方の更なるご協力を宜しくお願い致します。末筆ながら、皆様方のご健康とますますのご活躍をお祈り申し上げます。

西野田機友会会長 井上義雄

新企画

西野田機友会新年会のご案内

平成30年1月20日(土)16:00~18:00

今年は西野田機友会発足20周年、母校は創立110周年を迎えなにかと目出度い年でした。さて、来年は……。

今回、西野田工友会からの会報が来年3月になり、例年と変わり正会員の皆様へ西野田機友会から会報30号をお届けします。そこで、初めての西野田機友会新年会を企画致しました。

気楽で親交を高める新年会に、ご多忙とは存じますが、万障繰り合わせの上ご出席頂きますようお願いいたします。

同封の出欠ハガキは平成30年1月6日(土)迄にご投函ください。

当日の連絡先 井上/090-9875-4162 濱田/090-1023-7010

日時 平成30年1月20日(土)16:00~18:00

会場 がんこ阪急東通り店
大阪市北区小松原町4-7
ニュー大東洋ビル2階
TEL.06-6131-0388

受付 15:30~
16:00~18:00
年会費 5,000円
当日徴収致します。

JR大阪駅
阪急梅田駅より
徒歩約5分



1.例年、12月下旬発行の西野田工友会会報は、来年3月に延期

例年、12月下旬に西野田工友会会報が発行され、西野田機友会会報を同封し、正会員、卒業生にお届けしていましたが、今年は、母校110周年記念事業報告の都合で、西野田工友会会報が来年3月頃に発送されることになりました。西野田機友会発足20周年記念誌、会報30号を年内お届け予定でしたが適わずご容赦ください。独自で発送するには費用が掛かりすぎの為、正会員のみへ会報30号をお届けすることになりました。

2.西野田機友会発足20周年記念誌配布について

西野田機友会発足20周年の記念事業として記念誌を発刊。平成9年から平成29年迄、発足の経緯に始まり、社会見学会、総会など他の行事を70点程の写真で構成しています。他に正会員の祝辞、思い出など合わせて掲載しています。

A4サイズ8頁中との体裁で4,200部発行致します。年内お届けを予定していましたが前述の通り出来ず、来年、西野田工友会会報発行時に同封致しますのでいましばらくお待ちください。

3.西野田機友会会費振込について

例年、西野田工友会会報同封の振込用紙にて会費の納入をお願いいたしておりますが、今回は同封の振込用紙にて、卒業年度を必ずご記入の上、お近くの郵便局から振込みをお願い致します。また、来年3月発行の西野田工友会会報の振込用紙をお使いいただいても結構です。年会費¥3,000は平成30年度会費になります。西野田機友会の運営上格別のご理解をお願い申し上げます。



発行 H29.12 配布H30.3予定

西野田機友会会則

平成18年5月21日会則改正

第1章 組織及び事務局

(名称)

第1条 本会は、西野田機友会と称する。

(組織)

第2条 本会は、大阪府立西野田工業高等学校機械科及び大阪府立西野田工科高等学校機械系の卒業生、教職員、旧教職員をもって構成する。

(事務局)

第3条 本会は、事務局を大阪府立西野田工科高等学校機械系内に置く。

第2章 目的及び事業

(目的)

第4条 本会は、会員相互の親睦を計り、互いに研鑽するとともに後輩の育成と母校の発展に寄与する事を目的とする。

(事業)

第5条 本会は、次の事業を行う。

- (1) 会報の発行
- (2) 講演会及び見学・親睦会の開催
- (3) 会員名簿の管理
- (4) その他

第3章 会員

(会員)

第6条 本会の会員は、次の通りとする。

- (1) 会員:大阪府立西野田工業高等学校機械科及び大阪府立西野田工科高等学校機械系卒業生
- (2) 正会員:会員のうち年会費を納入した者
- (3) 特別会員:大阪府立西野田工業高等学校及び大阪府立西野田工科高等学校教職員及び旧教職員

第4章 役員

(役員及び執務)

第7条 本会の会務を執行するため、次の役員を置く。

- (1) 会長 1名 本会を統括する
- (2) 副会長 2名 会長を補佐する
- (3) 会計 1名 本会の会計を担当する
- (4) 会計監査 2名 本会の会計を監査する
- (5) 事務局長 1名 本会の事務を担当する
- (6) 事務局次長 1名 (機械系教職員)事務局長を補佐し、事務を担当する
- (7) 幹事 若干名 本会の運営を補佐する

(役員選考及び選考委員会)

第8条 会長、副会長、会計及び会計監査の選考は、選考委員会により選出し、総会の議決承認をもって行う。

2. 事務局長、事務局次長及び幹事は、会長が委嘱する。

第9条 選考委員会構成員は会長が委嘱する。

(相談役・顧問)

第10条 会長は役員会の議を経て、相談役・顧問を委嘱することができる。相談役・顧問若干名は本会の運営に関し、役員会の諮問に応じ意見を述べる。

(任期)

第11条 役員の任期は3年とし、再選は妨げない。

2. 役員に欠員が生じた場合は速やかに選任し、その任期は前任者の残任期間とする。

第5章 機関及び会議

(機関)

第12条 本会の機関は、総会及び役員会とし、会長がこれを召集する。

(総会)

第13条 総会は、正会員をもって構成し、年一回開催する。

2. 総会の議長は、会長が行う。

3. 特別会員の出席を妨げない。

(役員会)

第14条 役員会は、役員をもって構成し、必要に応じて開催する。

(小委員会等)

第15条 会長は、必要に応じ役員会の議を経て、小委員会やワーキンググループ(以下小委員会等)を設けることができる。

2. 小委員会等には主査を置き、会長はこれを委嘱する。

3. 委員会等の目的が終了した場合は、会長は役員会の議を経てこれを解散する。

(会務)

第16条 役員会は、次の事項を決議・執行する。

- (1) 総会に付議すべき事項
- (2) 総会で議決した事項
- (3) その他、総会の議決を要しない会務の執行に関する事項

(議決)

第17条 本会の議事は、出席者の過半数をもって議決される。

第6章 会計

(会費)

第18条 本会の経費は下記の会費及び広告料などで支弁する。ただし、寄付金・賛助金はこれを拒まない。

- (1) 正会員…年会費3,000円
- (2) 特別会員…無料
- (3) 臨時会費…講演会・見学会、その他行事等の臨時会費を徴収することができる

(会費の徴収)

第19条 本会の正会員は、事務局が送付する郵便振替用紙にて年会費を納入する。

2. 臨時会費は必要に応じて、各行事開催時に参加者から徴収する。

(会計年度)

第20条 本会の会計年度は、4月1日から翌年3月31日とする。

第7章 付則

(会則の変更・改正)

第21条 本会則の変更・改正は、総会の議決承認をもって行う。

2. 本会則に無い事項は役員会で決する。

(発効)

第22条 本会則は、平成9年4月27日より施行する。

平成18年5月21日会則改正、同日より施行。